

★県北地域の感染症発生状況（10/15～10/21 福島県感染症動向調査より）

・RSウイルス感染症の流行、A群溶血性レンサ球菌咽頭炎の小流行が見られます。レジオネラ症（80歳男性）、百日咳（学童3名）の発生がありました。

9月以後、福島市で3名、郡山市、いわき市で各1名ずつ「風しん」の発生が報告されました！

今月のトピックス

★インフルエンザ流行の時期が近づいています！

インフルエンザは、インフルエンザウイルスが感染することにより起こる流行性の急性呼吸器疾患です。例年12月～4月に流行します。一旦流行が始まると短期間に多くの人に感染がひろがります。多くの方は約1週間で回復しますが、乳幼児や高齢者、持病がある方等は「重症化」し、脳症や肺炎等重い合併症を伴う場合があります。感染を拡大させないために、一人一人がインフルエンザについて正しい知識を持ち、予防や感染拡大防止に努めることが必要です。

<インフルエンザはどんな病気？>

項目	内容
症状	38℃以上の発熱、頭痛、全身倦怠感（だるさ）、筋肉痛、関節痛、咳、鼻水など
感染経路	飛沫感染：患者の「せき」や「くしゃみ」などのしぶきに含まれるウイルスを吸い込むことによって感染。 接触感染：ウイルスが付着した手で口や鼻を触れることによる感染。
潜伏期間	1～3日
感染伝播する期間	発症前日から発症後3～7日間は、鼻やのどからウイルスを排出する。 （学校保健安全法では「発症した後5日を経過し、かつ解熱した後2日（幼児にあっては3日）を経過するまで」インフルエンザの出席停止期間としています。）

<予防するためには？>

- ◆流行前の予防接種：6ヶ月～13歳未満は2回、13歳以上は1回接種
接種後抵抗力がつくまでは約2週間。流行前の12月中旬までに受けましょう！
- ◆十分な栄養と睡眠で抵抗力をつける。
- ◆外出後の手洗い・手洗い後、手が乾いてからのアルコール消毒も効果的
- ◆「咳（せき）エチケット」で他の人への感染予防

①咳やくしゃみを他人に向けて発しない。②咳やくしゃみが出る時はマスクをすること。マスクがないときはティッシュや腕の内側等で口や鼻をおおい、顔を他人に向けないこと。③鼻汁・タンなどを含んだティッシュはゴミ箱へ捨て、手のひらで咳・くしゃみを受け止めたときはすぐ手を洗う。

一人一人が予防を心がけることで流行が防げるんだね！



インフルエンザ予防接種費用には一部助成があります！

インフルエンザの予防接種は、インフルエンザ発症時の「重症化」予防に効果があります。市町村では「65歳以上の方」等を対象に接種費用の一部を助成しています。詳細は、市町村の予防接種担当課へお問い合わせください。

発行日 平成30年10月30日
発行元 福島県県北保健所
医療薬事課
住所 〒960-8012
福島市御山町8-30
電話 024-534-4113
ホームページ
検索キーワード

福島県県北保健所